



料金別納郵便

近代日本画

陶芸

杉山 寧 加山哲也 二人展

令和4年8月21日(日)~27日(土) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日27日は午後5時まで)

作家在廊日：加山哲也 21日(日)、23日(火)、25日(木)、27日(土)

加山哲也氏は多摩美術大学では日本画を専攻して卒業後、番浦史郎氏の元で陶芸の道に進んだ。大学卒業後、暫くして哲也氏から徳利とぐい呑みが送られて来た。

父君加山又造先生の研ぎ澄まされ洗練された形も追求と異なってそれらは未完ではあるがたっぷりとおおらかなフォルムで温かみを感じた。

この度は杉山寧先生の作品と同じ空間に並ぶと言う。

日展の先端に立たれた杉山先生、創画会でご活躍された加山先生、いずれも研ぎ澄まされた美の追求、象徴、リアリティの究極を求められていて、私がいくら装飾語を使っても使い過ぎることはない。

哲也氏の膨らみのある大らかさとはある意味両者とは対極にあり、対比できるものと思っている。

米谷清和 (公益財団法人 日展会員・多摩美術大学 名誉教授・日本画家)

杉山 寧 Sugiyama Yasushi

明治42年 東京浅草に生まれる。両親は文房具店を営み、幼少から描くことに才能を発揮
昭和7年 東京美術学校在学中に

「磯」第13回帝展で特選
昭和8年 卒業制作「野」で首席に選ばれ、松岡映丘に師事

昭和32年~平成5年 「孔雀」で芸術院賞を受賞
芸術院会員、文化勲章受章
月刊・文芸春秋の表紙、個展開催多数

平成5年 東京文京区にて死去

加山哲也 Kayama Tetsuya

昭和29年 日本画で高名な加山又造の長男として、神奈川県に生まれる

昭和53年 多摩美術大学日本画科を卒業する
陶芸家・番浦史郎に師事する

昭和61年 独立
昭和63年 神奈川県大磯に窯を築く

平成4年 日本橋高島屋で初個展を開催する

平成14年 加山又造・哲也二人展を開催する

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



「映」杉山 寧
「金龍文瓶」加山哲也



「鱈」 杉山 寧



「牡丹文俎皿」 加山哲也



「紫陽花」 杉山 寧



「鉢と蜜柑」 杉山 寧



「桜花文鉢」 加山哲也



「鉞形虫文扁壺」 加山哲也